

クリーニングのための通信教育講座 研修カリキュラム

※お申し込みは

各講座配信開始の10日前(金)まで

※必要資料は、その都度研修前にメールでお送りします。

※ご不明な点がございましたら、電話 078-411-4802。メール問い合わせ jimur@morri.co.jpまで。

※受講には、インターネット接続、パソコンorタブレット・スマホが必要になります。

開催日時:日程表参照、

- ・1回3講座単位(1講座45~50分)
- ・6日間・24時間配信、ご自由に何回でもご覧ください。

参加費用:1 講座10,000円、

- ・3講座単位でお申し込みください。
- ・セミナー、クリーナーズクラブ、テキスタイルケア協会メンバーは1 講座9,000円。

※本年中に申し込みに関し、1講座8,000円とさせていただきます。

通信教育講座申し込み書

Fax. 078-411-4803

開催日	講座内容		講師	講座のポイント
平成31年	講座番号	研修授業内容		
1. 機能としてのカウンター (効率の良いカウンターでの働き方)				
1月14日 ~19日	第1講座	カウンターの仕事	毛利春雄	カウンターの仕事とは
	第2講座	店舗メンテナンスと外観とディスプレイ	//	店舗は見た目も大切なのです
	第3講座	カウンターの姿	//	カウンターと周辺の作り方
1月21日 ~26日	第4講座	システムを構築する	毛利春雄	サービスの内容で異なる接客手順
	第5講座	カウンターのマニュアル	//	誰もが同様の作業手順をとる
	第6講座	商品の確認とクリーニングの提案	//	お客さまが選ぶクリーニングの方法
1月28日 ~2月2日	第7講座	商品の取扱と商品知識	毛利春雄	検品、タグ付け。商品の名称
	第8講座	ポストとロッカーのシステム	//	省力化の手法
	第9講座	ネットクリーニングその他の問題点	//	販路拡大の手法と問題点
2. ロットを学ぶ (納期のお約束が出来る様にするために)				
2月4日 ~9日	第1講座	クリーニングのロット	毛利春雄	ロットの考え方、作り方
	第2講座	ロットは納期の確約から	//	安定したロットを組むために
	第3講座	商品数をコントロールする	//	商品の平準化を図る
2月11日 ~16日	第4講座	ロットはどのように作られるのか	毛利春雄	配送時間とロットと商品構成
	第5講座	ロットの規模と考え方	//	ロットの大きさと配送ダイヤを作る
	第6講座	ロット編成	//	ロットを作る
2月18日 ~23日	第7講座	ロットの表示とルール作り	毛利春雄	ロットを混乱させないために
	第8講座	多能工とマニュアル	//	商品のスムーズな流れのために
	第9講座	ロット作業の実例とポイント	//	動画でロットの流れを説明します
3. マニュアルで仕事をする (だれもが安定した品質と量を生産出来るように)				
3月4日 ~9日	第1講座	マニュアルで仕事をする	毛利春雄	仕事を進める上での必要手順
	第2講座	マニュアルの目的	//	何時でも、誰もが同じ商品を作る
	第3講座	作業(仕上)のポイント	//	作業の目的とポイントを知る
3月11日 ~16日	第4講座	マニュアルを作る	井藤みどり	ジャケット・コート類の仕上を例に
	第5講座	マニュアルを作る	//	ズボンの仕上を例に
	第6講座	マニュアルを作る	//	ワイシャツを例に
3月18日 ~23日	第7講座	マニュアルを教える	毛利春雄	先ず机上で教える
	第8講座	マニュアルを教える	//	現場研修・ズボンを例に
	第9講座	マニュアルを教える事と評価	//	評価されない仕事はありません
6月以後の講座予定				
	講座名称	研修授業内容		
6月配信予定	4. 洗を考える	クリーニングの原点である洗いについて考えます	全9講座	毛利春雄
7月配信予定	5. シミ抜き講座	シミ抜きの理屈と動画で見るその実践	全9講座	中島啓介
8月配信予定	6. 衣料品の知識	繊維と衣料品とクリーニング(事故を防止する)	全6講座	住連木まさし 毛利春雄
9月配信予定	7. マニュアル集	機器によって異なるマニュアルを用意しました	全9講座	井藤みどり
10月配信予定	8. 機器とメンテナンス	メンテナンスによって作業効率は著しく異なります	全6講座	徳田二郎 毛利春雄

一般参加	セミナー会員	TCC会員	JTC会員
参加される会社名		代表者のお名前	
会社の住所 〒番号		電話番号	
メールアドレス		Fax.番号	
受講講座(数字を丸印でお困りください)			
1. 機能としてのカウンター (1, 2, 3, 講座) (4, 5, 6, 講座) (7, 8, 9, 講座)		5. 洗うを考える ※あらためてご案内します	
2. ロットを学ぶ (1, 2, 3, 講座) (4, 5, 6, 講座) (7, 8, 9, 講座)		6. 衣料品の知識 ※あらためてご案内します	
3. マニュアルで仕事をする (1, 2, 3, 講座) (4, 5, 6, 講座) (7, 8, 9, 講座)		7. マニュアル集 ※あらためてご案内します	
4. 洗いを考える ※あらためてご案内します		8. 機器とメンテナンス ※あらためてご案内します	

受講座数 × ¥ = ¥

※受講方法は申込受け付け後に、説明書を送付いたします。

※資料代を含みます。消費税別途。

※必要資料は講座毎に配布します。

2. ロットを学ぶ

ロットシステムって良く分からないので、繁忙期には商品が山と積まれた状態を繰り返しています。ロットシステムを行っているつもりだが、なかなか上手く運用出来ていない等々でお悩みの方は、是非、当講座でロットの本質を理解して、ロットによるスムーズな工場運営をしてください。ロットシステムの考え方から、ロットシステムの編成、店舗の納期の確約等々、ロットの全てに渡って丁寧に説明します。

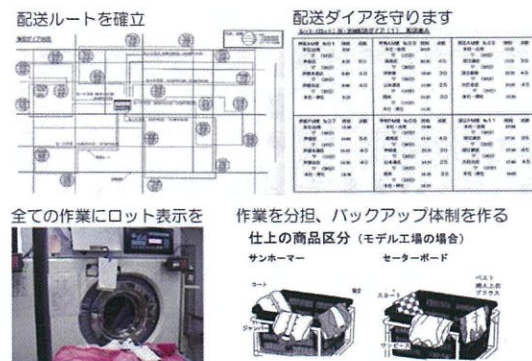
- 何故？ 何故？ 何故？
- ・何故、うちの工場は納期が安定しないの？
 - ・何故、時々商品が行方不明になるの？
 - ・何故、綿パンツが遅くなるの？
 - ・何故、毛布は10日もかかるの？
 - ・何故、後から出した毛布が先に出来るの？

ロットの全ては店舗から始まるのです 実際のコントロール風景



そして、この問題を解決すべく、他社の工場見学をしたり、機材商、資材商の話の聞いたりするのですが、解決の糸口すらつかめないのです。簡単なのです。クリーニングのロット始めは店舗。要するに店舗の工場へ出す商品数がロットの始まりなのです。問題はここにあるのです。ここに、米国陸軍洗濯工場・通称QMランドリーの教則本からの抜粋を記しますので、よく考えてください。(第一章 序論 第一部 概論より)

19. 集荷及び発送計画
- 洗濯将校は毎日の集荷及び発送の計画を立てなければならない
 - 毎日の仕事の量が同じ位になるようにしなければならない、もしそうしなければ、工場に多くの労働力を集めて置き、工場内に大きな貯蔵所を設けなければならない。
 - …前略。なぜなら、仕事を常に滑らかに流す為の秘訣はこの洗濯物の仕事の偏りを直ぐ完全なものに直したら「洗濯機に品物を詰め込んだりする様なことをする必要はなくなる」…。
20. ロットの大きさ
- 通常ロットは集荷によって定めたロット(48点~96点)の大きさに区分され、受け取った順に入荷する。以下略。



3. マニュアルで仕事をする

マニュアルとは、業務のあるべき姿を形にして、誰が、何時、何処で仕事をして『同様の品質』『安定した生産性』が上げられるように示したものです。

マニュアルで仕事をするとは、「同様の品質」「安定した生産性」をうるために示された手順を踏むことによって「品質」「納期」を確実にし、お客様の信頼を得ることです。作業によって品質が異なったり、教える人によって作業手順が異なるようではお客様に「自社の安心」すなわち「信頼」を得られないのです。

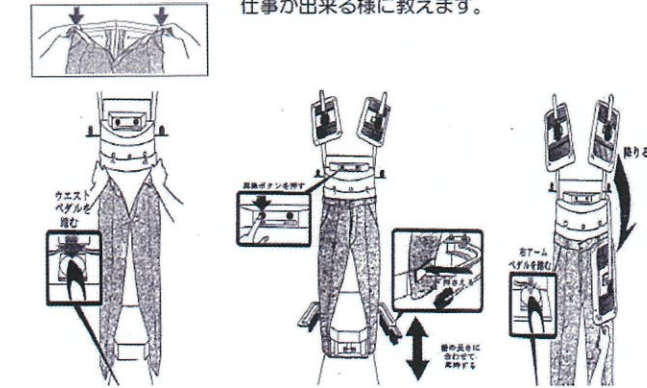
マニュアルがない、マニュアルの作り方がわからない、このような方々のためにこの講座を用意しました。

- マニュアルのキーワードの例
- ・「いつでも」「どこでも」「だれがしても」
 - ・「常に順番、先のものから」
 - ・「確実に一回で」「同じ動作を2度しない」
 - ・「次の作業を考えて」
 - ・「チームワークで対処する」
 - ・「全ての作業はロット単位で」
 - ・「確認せよ」「あなたがチェックマン」

ひとつひとつの作業が確実に処理されることを示すのがマニュアルです。写真はワイシャツの工場における「検品作業」のマニュアルです。



マニュアルは全ての作業に作られます。これくらいは教えなくても解るだろう、とか、常識は通用しないと考えるべきではありません。図は、パンツトッパーのマニュアルを抜粋したものです。作業手順と、作業のポイント、作業速度を理解して仕事出来る様に教えます。



※詳細は通信講座カリキュラムを参照ください。
 ※通信講座は、インターネットの接続が出来れば、何方でも受信は可能です。受信方法については、申込後にお知らせします。
 ※通信講座の内容をお知りになりたい方は、ホームページから「通信講座サンプル動画・ロットを学ぶ」をご覧ください。
<http://www.morri.co.jp>
 ※なお、講座での質問は benkyo@morri.co.jp まで連絡下さい。

2019年度 クリーニングのための 通信教育講座



インターネットによる社内や近隣の会議室を利用した研修講座

クリーニングのトータルコンサルティング



株式会社オフィス毛利

1. 機能としてのカウンターを考える

効率の良いカウンターでの働き方のために

カウンターというと「接客」の向上が言われ、これに対する勉強が盛んに行われています。実際クリーニングのフロントとしてのカウンターを見れば、まず、接客ということになります。

しかし、何のために接客をしているかを考えてみれば、これは、クリーニング商品を扱うために行われているのです。この商品を取り扱う、カウンター業務を機能的に行おうという会社は意外と少なく、多くの場合カウンター担当者個人のテクニックに頼っているのです。これでは、会社の伝えたいことが伝わらず、時にクリーニングへの不信感を持たれることになるのです。

カウンターを考える管理者、経営者の一助にと企画しました。

商品を取り扱うカウンターとして、作業が機能的に行われないと お客様に「不快感」「不信感」を与えることになるのです。機能的なカウンターとは、商品の受け渡しをスムーズに行えるようにするために考える事なのです。

カウンター業務といっても、決まり切った商品をより容易に行う、自動化に近い作業の方法を取る会社と、商品にそったクリーニングを提供しようとする会社では「カウンターの機能」の考え方が異なってきます。お客様方は、この両方の方が混在されています。また、衣服は量販品からオーダーされた品物まで、色々あるのです。

決して十把一絡げに扱ってよいものではないのです。

研修内容の紹介
 いろいろな実例を基に、どのようにカウンターが作られるのがお客様との距離感を保てるのか、考えるお手伝いをします。
 第2講座 店舗の外観より
 存在感のあるお店・中が見えるキレイなガラス面



講座より抜粋
 カウンターの風景 お休みください クリーニングポスト イギリスのネットクリーニング



第9講座 クリーニングの知識より
 ランドリーとドライクリーニング・水と油の違いを知る実験

